

説明・同意書

医療行為名

胃内視鏡的胃瘻造設・交換術

予定年月日

平成 年 月 日

胃瘻造設・交換についての説明

- 胃内視鏡を用いて、局所麻酔科で経皮的に栄養を注入する胃瘻管(カテーテル)を、胃内へ留置する処置であり、今後の全身管理上必要で有益なものです。
 - 挿入した胃瘻管(カテーテル)は、長期間使用することで、カテーテルの汚れや変形・破損などの原因となるため、定期的な交換が必要です。交換は、古いカテーテルを抜いて、その瘻孔に新しいカテーテルを入れます。
カテーテルの種類によって、交換時期があります。
 - バルン型 1～3ヵ月
 - バンパー型 約6ヵ月
- ※ 但し、カテーテルに問題が生じた場合は、随時交換が必要です。

胃瘻造設・交換に伴い起こりうる合併症

1. 造設時及び、管理上のリスク

- ①出血
- ②穿孔などの臓器損傷
- ③腹膜炎
- ④瘻孔感染
- ⑤管の自己抜去
- ⑥内容物の嘔吐による誤嚥性肺炎

2. 交換時

- ①腹腔内誤挿入と誤注入

合併症に対し、十分慎重に注意しながら行うと同時に、発症時には速やかに適切な対処を行います。

説明日 平成 年 月 日 科 医師

このたび、小田原市立病院において「胃瘻造設・交換術」を受けるにあたり、その内容、必要性、危険性について、上記のとおり説明を受け、かつ、そのことについて質問する機会も得て、十分理解し、納得しましたのでその実施に同意いたします。

また、処置の実施中に、緊急または、不測の事態が生じた場合において、医師が必要かつ適切と判断した、この同意書に記載以外の診療行為についても同意いたします。

小田原市立病院長 様

平成 年 月 日

患者氏名

親族または代理人 氏名

住所

患者との続柄